

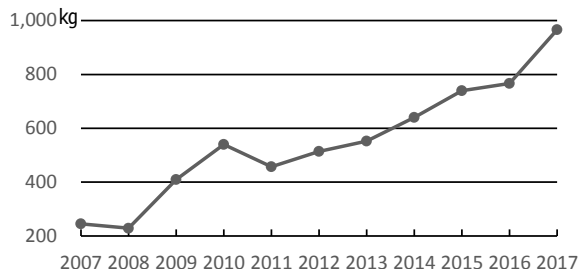
やっちゃんエコライフ2017取組み結果

- ・市民、事業所、小中高生と家族のみなさんなど合計8,281人参加。
- ・二酸化炭素約966kg（過去最高）の排出を防ぐことができました。
- ・中間市全世帯約2万世帯が約90分間消して防いだ排出量に相当。
- ・リッター15kmの燃費の自動車1台が約6,300km走行しないで防いだ排出量に相当。

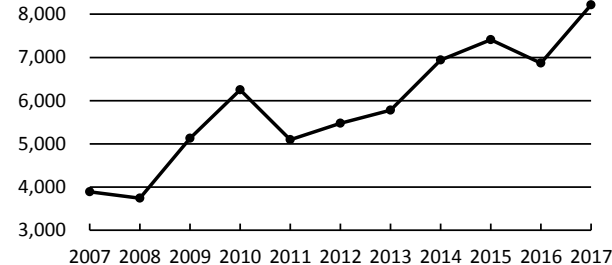
やっちゃんエコライフ2017 集計結果表

参加者名	参加数(人)		防いだ排出量(g)	参加率(%)
	本人	家族		
小学1～3年生	371	734	30,020	37.8
小学4～6年生	425	880	42,865	45.2
小計	796	1,614	72,885	41.4
中学生	625	492	84,021	64.3
高校生	1,186	312	175,034	78.9
小中高小計	2,607	2,418	331,940	
小中高等学校職員	150	102	45,801	39.0
市職員	349	327	117,088	
遠賀川河川事務所	8	7	2,816	
宗像・遠賀福祉保健環境事務所	20	21	8,175	
地球温暖化防止活動推進センター	15	26	5,470	
リサイクル総研	14	15	4,397	
リサイクルプラザ	20	14	7,002	
各企業・事業所	524	414	157,003	
市内各団体	38	25	15,477	
37自治会	579	334	210,024	
団体・自治会不明	145	96	56,188	
他	13	-	4,455	
小計	1,875	1,381	633,896	
合計	4,482	3,799	965,836	
総計	8,281			

防いだ排出量の推移



参加者数の推移



初めて参加した小学1年生の意見

- ・みずとかでんきをけしたりとめたりすることがたいせつなのです
- ・お風呂にはいるときはてれびをけしています。だれもないへやのでんきもけしています。
- ・たのしかった。あかりがついているのを自分からすすんで消すのがおもしろかった。これからもつづけよう決めました。
- ・これからは、ごはんをのこさずたべようとおもいました。・ごはんをちゃんとたべようとおもった

小学1年生の家族の意見

- ・このプリントを持ってかえた日から節電や水の流しっぱなしなど、いつも以上に家族で気をつけるようになり「電気つけっぱなしだよ」と娘に言われたりもし、これからも家族でエコライフを送りたいとおもいます。
- ・1日「だれもないへやのあかりを消す」に気を付けすぎました。日頃から消すようにしていたつもりですが、なかなか出来ていないのがわかり反省です。今後とも続けて行こうと思います。
- ・初めて「エコ」という言葉を意識したようです。自ら進んで家中の部屋を回って電器を消していました。食事もいつもは少し残すのに「これもエコだね」とがんばって全部食べました。
- ・すききらいをなくす様にしよう話し合う事が出来ました。
- ・ものを大切にすると同じように、水や電気などかたちのないものも大切にしないと地球がよごれてしまうんだよという話を家族でしました。・子どもとエコライフについて話す事が出来ました。

参加者・協力団体

市民のみなさん、中間市内全小学校（6校）全中学校（4校）、北九州高等学園、希望が丘高校、中間高校、国交省遠賀川河川事務所中間出張所、福岡県宗像・遠賀保健福祉環境事務所、福岡県地球温暖化防止活動推進センター、中間市役所、中間・遠賀リサイクルプラザ、株式会社安川電機、イオンなかま、筑豊電気鉄道、東罐マテリアル、豊田パン、深江工作所、福岡銀行中間支店、藤津薬局、中間市自治会連合会、中間市環境衛生協議会、中間市老人クラブ連合会、中間市婦人会、中間ライオンズクラブ、底井野郵便局、中間市ボランティア連絡協議会、中間市シルバー人材センター、中間市文化団体連合会、女性ネット、子育て支援キューピー、中間ほたる・メダカの会、中間市EM普及会、中間市食生活改善推進会、ほか

主催：中間市民環境会議 なかまの環境を良くする会
特別協賛：北九州市立大学国際環境工学部二渡研究室

後援：中間市、中間市教育委員会 協賛：福岡県地球温暖化防止活動推進センター
問い合わせ先：なかまの環境を良くする会事務局（中間市 環境保全課）093-246-6265（直通）

